

母の鳥

糸園和三郎

制作年：1950(昭和25)年

サイズ：23.2×17.4cm

材質：ペン、紙

所蔵：中津市木村記念美術館



この作品は10点からなる連作、「母子集（ははこしゅう）」（ペン画シリーズ）のなかの1枚です。「母子集」が描かれたのは、ちょうど疎開先の中津で生活していた時期（1943～1956年）にあたります。「母子集」のどの作品にも言えることですが、画面には一種奇妙な世界が広がっていながらどこか暖かさのようなものを感じます。糸園和三郎は油絵、ガラス絵、素描など多くの作品を残していますが、ペン画という白黒の画面においても彼独特の情感あふれる世界が表現されています。